

津別町



川瀬牧場と「GYUGYU-TTO TERRACE」の幟、店先の看板、ホットドッグ

「わが村は美しくー北海道」運動第10回コンクール応募団体

合同会社 川瀬牧場

【津別町】

私たちが育てた牛をおいしく食べてもらいたい

はじめは？

川瀬牧場は、黒毛和牛の飼育から繁殖まで取り組んでいます。「牛飼いをしていることを地域に知ってもらいたい」との思いから、東京農大オホーツクキャンパスで販売・加工など学び、牛肉を気軽に食べてもらうために自宅敷地内で牛肉の加工品の販売を開始しました。2015年には、「お客さんが食べて帰れる場所を提供したい」と考え、自宅の一部を改装して土曜営業のカフェを開店しました。そして、2021年1月より合同会社川瀬牧場に法人化しました。

おもな活動

川瀬牧場は、黒毛和牛を「流氷牛」とブランド化して生産しています。カフェ「GYUGYU-TTO TERRACE」では自社牧場産の牛肉の加工品販売、牛肉と津別産の野菜に拘った料理と津別産の小麦を用いた手づくりパンを提供しています。一部のメニューは、東京農大の食堂で定期的に販売、地域のイベントで提供しています。このような取組を通じて、地域の活性化と牛肉の食文化発展に努めています。なお、現在ではテイクアウト中心にイートインと合わせた営業を行っています。また、ファームイン「カモマイル」を運営し、宿泊農業体験を通じ、若い世代へ「食と農」について理解を深めてもらう活動にも取り組んでいます。



カフェで提供

ここが自慢

カフェの来客数は、ホテルの帰り立ち寄りお客様やパンの購入を目的にしたお客様など増えています。2018年に、東京農大世田谷キャンパスで、オホーツクキャンパスの学生と「流氷牛」を使ったハンバーガーを販売したところ、用意した450食がすぐに売り切れました。2019年には、東京農大オホーツクキャンパスの学生と一緒に「地元の食材を使った保存できるお弁当のおかず」づくりを行いました。昨年、美幌農業高校1年(農業科)の出前授業の受入を行いました。将来、都市部の人々を対象にして、牧草畑に宿泊施設を作り、津別町の星空など田舎の風景と牛や農作物などを満喫し、津別町の良さを知ってほしいと思っています。



連絡先

代表者名：川瀬 伸一さん／設立：2021年／会員：2名

住所：津別町字豊永214-2

電話番号：0152 - 76 - 2596

F A X：0152 - 76 - 2593

E-mail：yasukko0825@yahoo.co.jp

URL：https://kawasefarm.com/